

# 緊急赤潮情報1-3

令和6年6月25日  
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐伯湾で有害プランクトン（ヘテロシグマ・アカシオ）の分布域が拡大しています。また、一部では注意密度を超えています。また、小型渦鞭毛藻と混合赤潮を形成し、一部では着色しています。魚介類の管理にご注意ください。

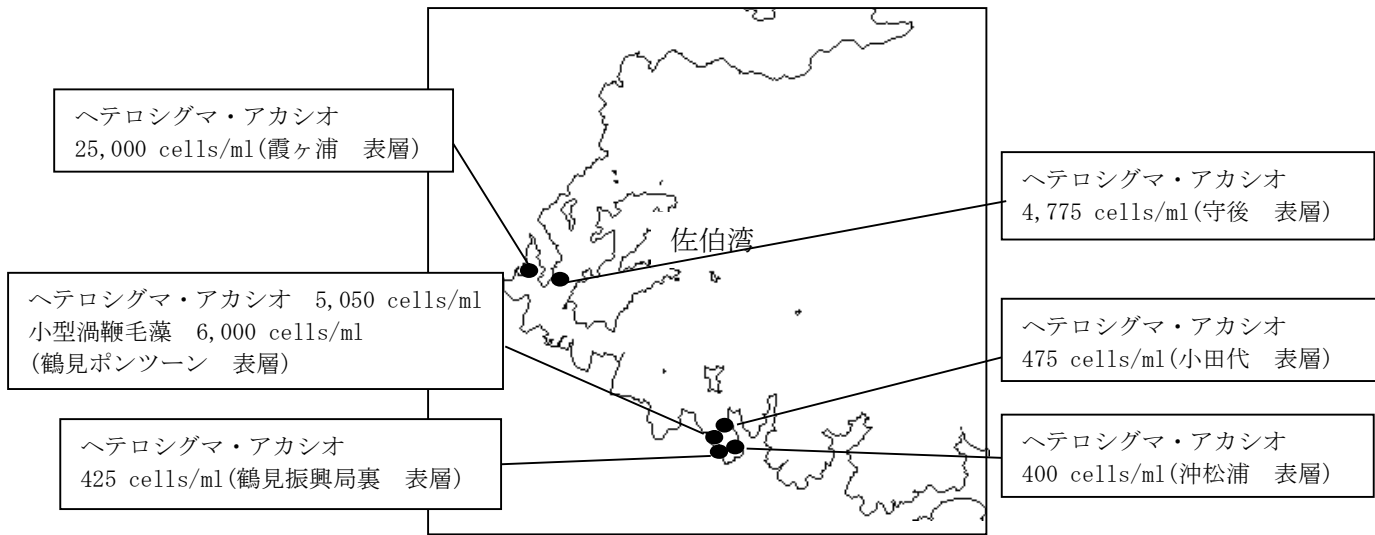
発生場所	佐伯湾		
発生期間	6月2日～		
プランクトン	ヘテロシグマ・アカシオ		
	小田代	表層	475 cells/ml
	沖松浦	表層	400 cells/ml
	鶴見振興局裏	表層	425 cells/ml
	鶴見ポンツーン	表層	5,050 cells/ml
	霞ヶ浦	表層	25,000 cells/ml
	守後	表層	4,775 cells/ml
	小型渦鞭毛藻類		
	鶴見ポンツーン	表層	6,000 cells/ml

(ヘテロシグマ・アカシオ赤潮の注意点)

- ・警戒密度：50,000cells/ml 注意密度：5,000cells/ml
- ・ヘテロシグマ・アカシオは魚介類に斃死を及ぼす有害な赤潮プランクトンです。特にシマアジに有害です。
- ・鉛直運動するため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害を発生することがあります。
- ・パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。

## 小型渦鞭毛藻類について

- ・小型渦鞭毛藻は魚介類に直接、斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンではありませんが、濃密度域ではプランクトンの死骸等による海水の腐敗によって、酸欠による斃死を引き起こすことがあります。ご注意ください。
- ・午前中に海色がよくても、午後から着色することがあります。
- ・パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動します。
- ・陸上養殖でも、取水口から原因プランクトンが進入することがあるので、注意してください。



赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 蓄養は控える。